

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和元年 6 月 16 日（日）午前 10 時～11 時 30 分
場 所 緑ヶ丘分館（緑ヶ丘地区町会）
参加者数 40 人



主な意見等

参加者 昨今、児童虐待について報じられることが多いですが、市役所で聞いたところ市には児童相談所がないとの事でした。
市ではこうした問題の防止に向けてどうお考えですか。

市 長 まず、児童相談所の設置についてですが、政令指定都市を除けば県が設置をしているものです。
市としては健診の際や、保育園・学校で子どもたちの異変を見落とさないようにし、早い段階で問題の発見をしていくことが重要だと考えています。
また、近隣のお声も重要ですのでお気づきのことがあれば市役所に相談や報告をしていただきたいと思います。

参加者 児童相談所への通報は現状、匿名で受け付けていますが、その分無責任な通報が増えてしまっているようです。
私の家も、そうした通報をされてしまいました。誤解が解けた後も謝罪等もありませんでした。
責任ある通報をしてもらうためにも実名にした方が良いのではないのでしょうか。

市長 通報する人も基本的には善意での事だと思いましたが、中にはそういったケースもあるようです。

私にいただいている「市政への提案」についても匿名でのご提案が多いです。お返事をしたいのでお名前を入れていただきたいなという思いはあります。

近隣トラブルについても直接言いづらいものを市が間に入ることもあります。その際も更なるトラブルを避けるためにお名前は伏せて対応しています。

少しでも通報や提案をしやすくするためには匿名性の確保が必要にもなりますので、その分しっかりと内容の真偽を見極めていくべきだと思います。

参加者 タウンミーティングの参加者には若い人が少ないように思います。若い人の意見を聞く場を作った方が良いのではないのでしょうか。

市長 ふれあい座談会という制度があり、さまざまな団体との話し合いの機会を設けています。

また、毎年各小学校にお邪魔して給食を食べながら子どもたちと話す機会があるのですが、中には「公園でボール遊びがしたい」など市政にまつわる話を受けることもあります。

毎年行っている「少年の主張」でも世の中の事や我々行政の行いが子どもたちの目にどう映っているかを聞くことができ、純粋で鋭い視点の意見をもらっています。

ことは子ども議会も行う予定ですので楽しみにしているところです。

参加者 コミュニケーションが希薄になっていく現代において、市役所職員が率先して市民とのコミュニケーションを図ってほしいと思っています。あいさつなどはされますが、どこか形式的で心がこもっていないように感じてしまいます。

市長 職員には、市役所は民間のお店と違って嫌でも来なくてはいけない場所である事や、用が無くても来たくなるような場所づくりをしていこうと日ごろから話をしています。

ちょっとした声かけなど、人と人との交流があると雰囲気が変わってくると思いますし、そこが今お話にあった「心をこめる」という部分にもつながってくると思います。

参加者 選挙における投票率の低さについてどうお考えですか。
データによると 30～40 代の投票率が悪いようです。こうした世代は市に移り住んでくる世代とも重なると思うので、転入時に窓口でも話をしていくと良いのではないのでしょうか。

市長 私も同じ思いです。自らの市長選挙の時もたとえ反対であっても、まずは声を上げてほしいと思っています。
権利の行使をしていただくように啓発活動は今後も進めていきたいと思っています。

参加者 マイナンバーカードは多額の予算をかけながらも普及していないようです。本人確認書類一覧の中で一番上に書くといいのではないのでしょうか。

市長 カードを持っていなくても通知カードさえあれば不自由しないのが現状です。
電子化に伴い、効率性向上のために普及させていかななくてはなりません。方法論としてはおっしゃられたような書き方も一つの手ではあると思います。

参加者 この地区には公園がなく、緑地公園は草木が生い茂り、子どもたちが安全に遊べるような場所ではありません。
人が集う場所として公園を整備していけば人と人のつながりも生まれていくのではないのでしょうか。
大きな箱物を作るなど財政的に余裕ができてきているようですので、暮らしに身近な部分にも手を入れてほしいと思います。

市長 緑地保全や暮らす人が憩う場所、災害時の一時避難場所としてなど公園の重要性は理解していますが、土地の確保などもあり、市内全域でまったく均等に配置できているわけではありません。
お話がありましたが、財政的には決して余裕があるわけではありません。職員の人員削減や二つあった箱物を一つにするなど合併特

例債も活用して次の世代への負担を減らすために動いています。

こうした地域からのお声を市役所で反映させていくのが、市民代表として市長となっている私の仕事だと思っています。

参加者 ビバからベルクの方に抜ける道は通学路であり、人通りも多い住宅街にも関わらず速度違反の車が多く通っています。
道路表示などで対策できないのでしょうか。

市 長 路面表示で対応していく方針です。規制については警察との協議が必要とはなりますので、ご意見として承ります。

参加者 鶴小の入り口の信号は大型車両が多く、右折信号がないため黄色信号で慌てて右折しています。小学校付近ということもあり、非常に危険な場所です。

市 長 規制表示や信号機の調整は県警との調整が必要で一筋縄ではいかないケースが多いです。
場合によっては学校までの間のみスクールゾーン指定などで対応することもできるのではないかと思います。

参加者 道路サポーターズのボランティアをしています。現在、ビバホーム脇の遊歩道で雨水枡の工事をしてしていますが、工事復旧後は植栽をする予定です。復旧の時に、大きな石や砂利を上に積まれてしまうことが多く、非常に苦勞するので一番上には柔らかい土を敷くなどしていただけないでしょうか。

市 長 一生懸命活動していただいてありがとうございます。なんとかできるか担当と調整してみます。